１年生で育てた大きな根っこ ２年生での様々な経験を 年輪として積み重ね 太く立派な幹をつくりあげよう	**年輪**	森町立旭が丘中学校第２学年 学年通信　第 10 号 令和３年　６月 25 日(金) 文責　間渕　彰浩

期末テスト結果

国語	「クマゼミ増加の原因を探る」の記述問題は、よく書けていて正答率も高く、授業の振り返りやテスト勉強をしっかりしてきているのが伝わってきました。文法の問題では、１年生で学習した文法をしっかりと理解できているかどうかが２年生の文法問題にも影響するので、できていなかった場合はもう一度見直す必要があります。また、中間テスト以降、漢字の書き取りをほぼ全員が毎日提出しているクラスと２割程度の生徒しか毎日提出していないクラスがあり、平均点で約２点差があったので日々の学習の差が出たと考えられます。「成功」が「努力」より先に出てくるのは辞書の中だけです。結果が欲しければ日々の学習を頑張りましょう。応援しています。
社会	前回に引き続き、知識を問う問題の定着率が高く、努力の跡が感じられました。一方で、地理では、「地形図」から実際の長さを求める問題等に、課題が残りました。地図上での長さ（cm）×縮尺の分母＝実際の距離（cm）となりますが、計算式の中に（cm）などの単位を書き込んでいくとミスが減ります。また、地理・歴史を問わず、記述で答える問題において、「資料を見て」、「資料を参考にして」という記述があった場合、資料から根拠を読み取っていくことが大切です。日頃から、「～だから、…。」、「××することによって、○○。」といったように、理由や根拠、事象間のつながりを大切にしていきましょう。（種田）
数学	今回のテストは文字式の計算、連立方程式と計算問題が約２０点分ありました。問題数が多かったこともあり、テスト内に見直しまで行けなかったという声も多かったです。だからこそ、素早く正確に解く力を付けられるようにしましょう。また、文字式による説明については、正答率が３０％近くでした。２学期の図形の証明に関わる大事なところなので、１文字で置く→２計算する→３説明するという手順をしっかりと復習しておきましょう。
理科	２年で学習した「化学分野」がテスト範囲でした。「知識・技能」に関する問題の正答率が高く、語句をしっかり覚えることができていると感じました。「思考・判断・表現」に関する問題に苦手意識をもっていたり、どのように答えて良いか判断できなかったりする人が多いです。テスト反省の時にも伝えましたが、ワークなどの自己採点では、解答例を見たときに「自分の書いたものとどう違うのか」を考える習慣をつけると良いでしょう。また、問題の意図を感じ取れるように、問題をしっかり読むことも大切です。「思い込み」をなくし、客観的に判断できるような解答を書くことができるようにしていきましょう。
英語	今回は不定詞、動名詞を主に扱ったテストでした。前回同様、並べかえ問題はよくできていました。ワークや単元テストを繰り返し解いた努力の結果だと思います。ぜひ続けていきましょう。「思考・判断・表現」に関する問題ではケアレスミスが目立ちました。「～すること」と言いたいときには to+動詞の原形、もしくは動詞 ing で表すことができるという基本的文法事項を確実におさえておきましょう。これら２つの文法を使うことで表現できることが大幅に広がるため、今後とても重要になってきます。もう一度解き直しをし、使い慣れていきましょう。